

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第126期 幹部予定者課程卒業式が挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

卒業生の皆様、そして御家族の皆様、大判学校長をはじめとする学校関係者の皆様、本日は誠におめでとうございます。

今、こうして皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、江田島で過ごされた日々の訓練が、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

本日、卒業される皆様におかれましては、この幹部候補生学校の良き伝統を受け継ぎ、この国の将来を担う、立派な指揮官になっていただきたいと、心から願っております。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、かつてないスピードで変化しており、近隣諸国による挑発的な行為など、国際情勢は、常に緊張状態にあると言えます。

また、国内に目を向けますと、近年、全国各地で豪雨や地震などの大規模災害が発生しております。こうした国難に見舞われた時、自衛官の方々が、鍛え抜かれた体力と精神力で、労を厭わず献身的に振る舞う姿は、我が国の誇りであり、国民の信頼もゆるぎないものとなっております。

ご承知のとおり、江田島市は、明治21年に海軍兵学校をお迎えしてから長きに渡り、海上自衛隊の皆様と共に、共存共栄・一体不可分の関係を築き上げてまいりました。

私達、江田島市民は、崇高な使命を担われ、愚直に国民の負託に応える、海上自衛隊の皆様は、心から敬意を抱いております。

これからも海上自衛隊と江田島市が、深い絆で結ばれた良好な関係を維持し、互いに益々と発展できるよう、市政を推進してまいります。

どうぞ、御卒業される皆様方におかれましても、辛い場面に立たされた時にこの江田島の地を思い出し、第二の故郷として、心に刻んでいただきたいと思っております。

また、折にふれ、家族や同期の仲間と訪れていただければ、市民一同、心から歓迎申し上げます。

いつの日か皆様と再びお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和2年7月1日

江田島市長 あき おか しゅう さく
明 岳 周 作